

【令和8年度 町政懇談会】

正解ナシの人口減少時代
つながり
共創で描くまちのミライ

Civic pride &
City promotion

■ 2026.6.23(tue)-6.29(mon)
■ 宇治田原町長 勝谷聡一

【kyoto ♥ のまち】 宇治田原町

近畿地方の真ん中
緑茶発祥の地

人口：約8,500人
高齢化率：33%
面積：55 km²



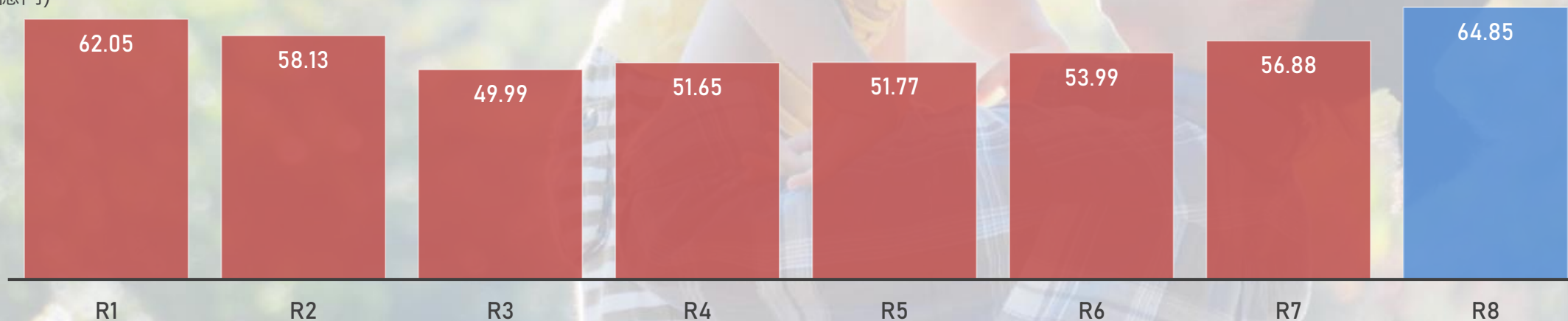
礎を力に。 未来へ歩み出す共創予算

R8
予算

64億8,500万円

↑ 対前年度比+7億9,400万円(+14%)過去最大規模の積極予算

(億円)



攻め(未来への投資)と 守り(物価高対策)の重点施策

第6次総計
4つの「まちづくりの目標」



戦略的投資(未来への投資)



物価高対策(暮らしを守る)

① やすらぎ	● 地震ハザードマップ改定 ● 健活フェスタ ● 新生児スクリーニング	
② つながり	● 宇治田原山手線・工業団地線整備	● 水道料金減免(1年間)
③ にぎわい	● 「ハートのまち」移住定住プロモーション ● ふるさと納税推進	● プレミアム商品券発行
④ ハート	● 未来挑戦隊チャレンジャー育成プロジェクト ● こども誰でも通園制度	● 小中学校給食費支援(1年間)

① やすらぎのまちづくり

暮らしの不安要因を減らすとともに、保健・医療体制の充実を図る

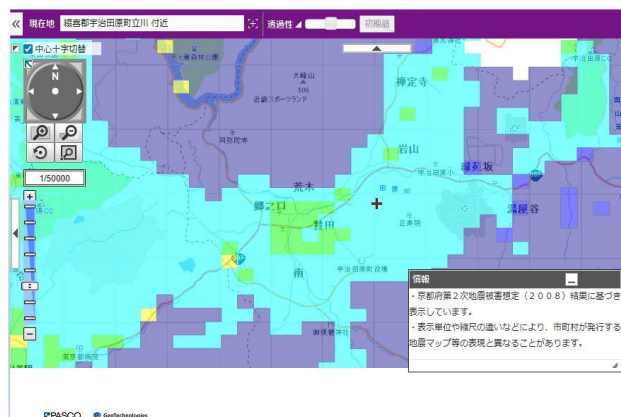
R8
予算

うじたわら健活フェスタ



▶ すべてのライフステージを対象に、健康づくりに関するさまざまな情報を発信・提供する参加・体験型イベントを開催。

地震ハザードマップ改定



▶ 地震による建物等の倒壊等から住民の生命、身体及び財産を保護することを目的に、地震被害想定を示した地震ハザードマップを改定。

新生児スクリーニング検査



▶ 公費負担により無料で受けることができる新生児マススクリーニング検査にオプション項目を追加した場合、その費用を町が独自に助成。

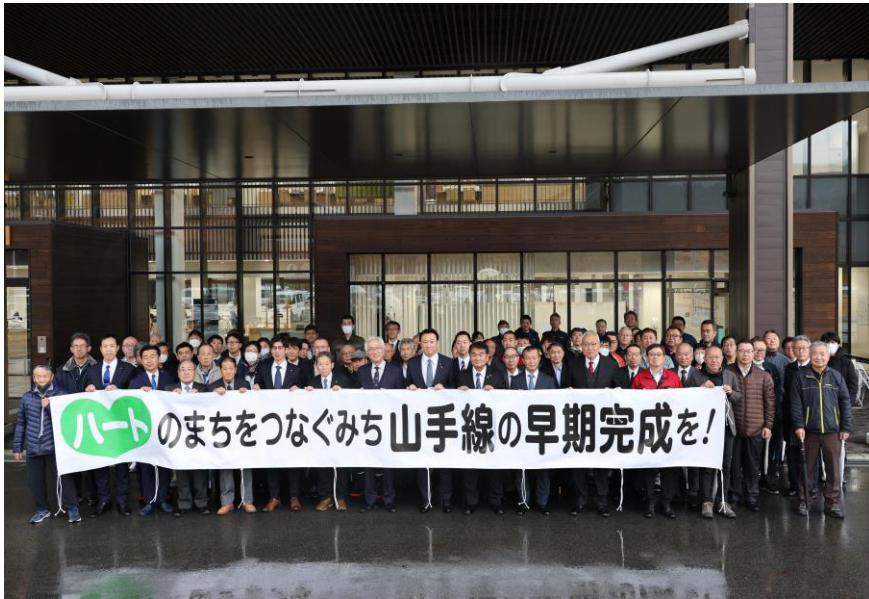
予測可能な不安を排除し、安心して暮らせる土台を構築。

② つながり のまちづくり

広域交通・道路と整合のとれた交通環境をはじめとする都市基盤の整備と
恵まれた自然環境の保全

R8
予算

宇治田原山手線の整備



▶ 宇治田原山手線、宇治田原工業団地線の整備による新名神効果の波及。

物価高騰対策 水道料金減免



▶ 足もとの生活・事業を下支えするため、水道の基本料金を1年間全額減免。

都市基盤の動脈を整備しつつ、足もとの家計・事業を下支え。

③ にぎわいのまちづくり

地域資源を活用しながら、移住定住や産業・観光振興、雇用創出につなげ、
活気あふれる賑わいのまちへ

R8
予算

「ハートのまち」 移住定住プロモーション



▶ 移住定住促進と関係人口の創出を図るため、京都ブランドと「緑茶発祥の地」の強みを活かしながら、『京都に、宇治田原町。』のプロモーションを推進。

物価高騰対策 プレミアム商品券



▶ 物価高騰の多大な影響が及ぶ地域経済の下支えとして、住民生活の支援と商工業者の活性化を図るため、町商工会のプレミアム商品券発行経費を補助。

【内容】プレミアム率：40%／発行単位：1,000円券
×7枚綴／発行セット数：10,000セット

関係人口の創出と地域経済の好循環。

④ ハートのまちづくり

子どもを産み育てる環境と教育の充実を図り、
郷土愛の醸成や多様性を認め合える共生の心を育む

R8
予算

こども誰でも通園制度



▶ 保護者の就労の有無にかかわらず、
月一定時間まで保育所が利用できる
制度をスタート。

未来挑戦隊チャレンジャーPJ



▶ ふるさと納税を活用して、夢に向
かって挑戦する子どもたちを応援す
る、特色ある横断的なプロジェクト
を展開。

物価高騰対策 小中学校給食費支援



▶ 物価高騰による保護者の経済的負
担を軽減するため、給食費を通年で
町が支援。

【内容】小学校：1年間無料／中学
校：値上げ分を1年間町が負担

未来を担う子どもたちへの切れ目のない投資。

まちへの愛着と誇りの伝播こそが 究極の「生き残り戦略」です。

重要
施策

先輩^{世代}
現役^{世代}
未来^{世代}

シビックプライドの
醸成

ふるさと納税



このまちのおかげで
成長できた



(戦略的財源確保)

子どもたちへの直接
投資



単なる支出ではなく、
「未来を担う人材」への
直接・投資的事業。
これこそが宇治田原町な
らではの戦略です。

① 住民が主役のまちづくり

多様な主体との交流・連携

□ 対話と意見聴取の機会を創出

● 町政懇談会（全11地区）

➡ 町内全11地区の公民館で開催。

● 未来共創ミートアップ

● うじたわら未来トーク（若者会議）

➡ 自分たちの住むまちの
「もっとこうなったら良いな」を見つけ、
ユニークなアイデアを出し、
仲間と一緒に実現をめざします。



① 住民が主役のまちづくり

70年の歩みを、今、未来へ



□ 町制施行70周年

令和8年9月30日に町制施行70周年を迎える宇治田原町。

この記念すべき節目の年に、「70周年記念」の冠称を付して、各種事業や取組を実施。

先人のご苦勞や業績に感謝するとともに、町全体でお祝いの機運を醸成し、一体感を高めます。

- 町制施行70周年記念式典
- 夏の思い出小学校プール開放
- バス運転士確保・応援事業
- おもてなし推進補助金特別枠の創設（補助率10/10）
- ふるさとの品開発支援事業 etc...

対話での住民の声反映

対話での住民の声反映



② 効果的な行財政運営とデジタル化の推進

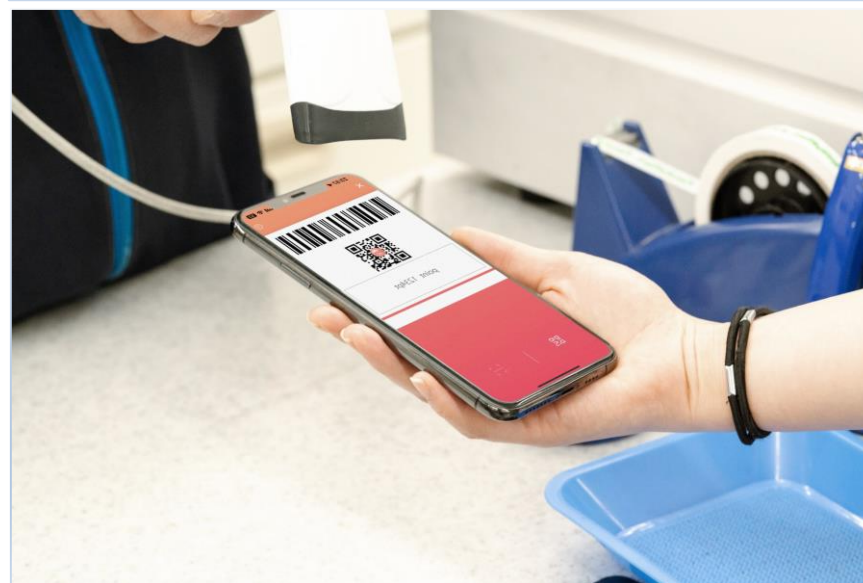
行政の
基本
姿勢

役場組織機構の見直し



▶ シティプロモーションやふるさと納税、移住定住施策等を一体的に推進する「**まち未来創造課**」の新設 など。

DX推進 キャッシュレス決済の導入



▶ 役場や各施設窓口において利用者の利便性を図るため、キャッシュレス決済に対応する環境を整備。

組織機構改革とDXの推進でまちの未来を切り拓く。

The background features a minimalist design with large, overlapping circles in light gray and teal colors on the left and right sides. The text is centered in the white space between these elements.

未来を拓く 就任以降の取組



未来を拓く就任以降の取組

わかりやすい情報発信で町政を見える化

☑ 地域懇談会の開催

- ➡ 未来共創ミートアップ(R7.8.30)
& インスタライブ(R7.10.7, R8.5.28)

☑ 広報やSNSによる情報発信を強化

- ➡ インスタグラム公式アカウントをアクティブに運用
- 「ujitawalike」 1,500フォロワー
- 「ujitawarakankou」 1,600フォロワー





未来を拓く就任以降の取組

稼げるまちを具現化

☑ 稼ぐ自治体（企業版ふるさと納税=目標：4年で4,000万円）

➡ トップセールスにより企業と地域の共創をPR

8社から2,370万円 (R7.2～R8.2)

☑ ECによる販路拡大

➡ クラウドファンディングを利用した

「ふるさとの品商品開発補助」制度を創設 (R7.6～)

209人から452万円



寄付金額

4,520,400円

100.6%

目標金額: 4,490,000円

達成率

100.6%

支援人数

209人

終了まで

受付終了

📍 京都府宇治田原町(きょうとふ うじたわらちょう)

未来を拓く就任以降の取組

学生・高齢者の移動ニーズに寄り添う

☑ 高校生のバス通学費補助を拡充

➡ 定期券利用者の補助割合を

1/2 から **2/3** に拡充（R7年度）

☑ 低所得世帯高齢者へ町営バス運賃の負担軽減

➡ 「一日乗り放題券」綴りを無償配布
（R8年度に試行予定）



「バス運転手への感謝メッセージ」の取組みは「ミートアップ」で出た高校生からの「直接思いを伝えたい」という意見を受けて、今年度、事業化。

未来を拓く就任以降の取組

☑ 官民連携の推進で企業とのマッチングを創出

➡ 就任以降、企業・団体含め7者と協定を締結

- ・ 災害時の洗濯支援、ポータブル電源等、ガラス修繕
- ・ プロモーション事業への企画助言・発信支援
- ・ AIスキル支援、行政書士の暮らし・法律相談 etc



☑ 維中体育館へエアコン設置 & 照明LED化

➡ 避難所にも位置付ける維中体育館に 冷暖房設備を整備（R8.6月完成予定）





5月4日みどりの日

GREEN GREEN モンブラン 寄附受付開始!

宇治田原町 × 京丹波町

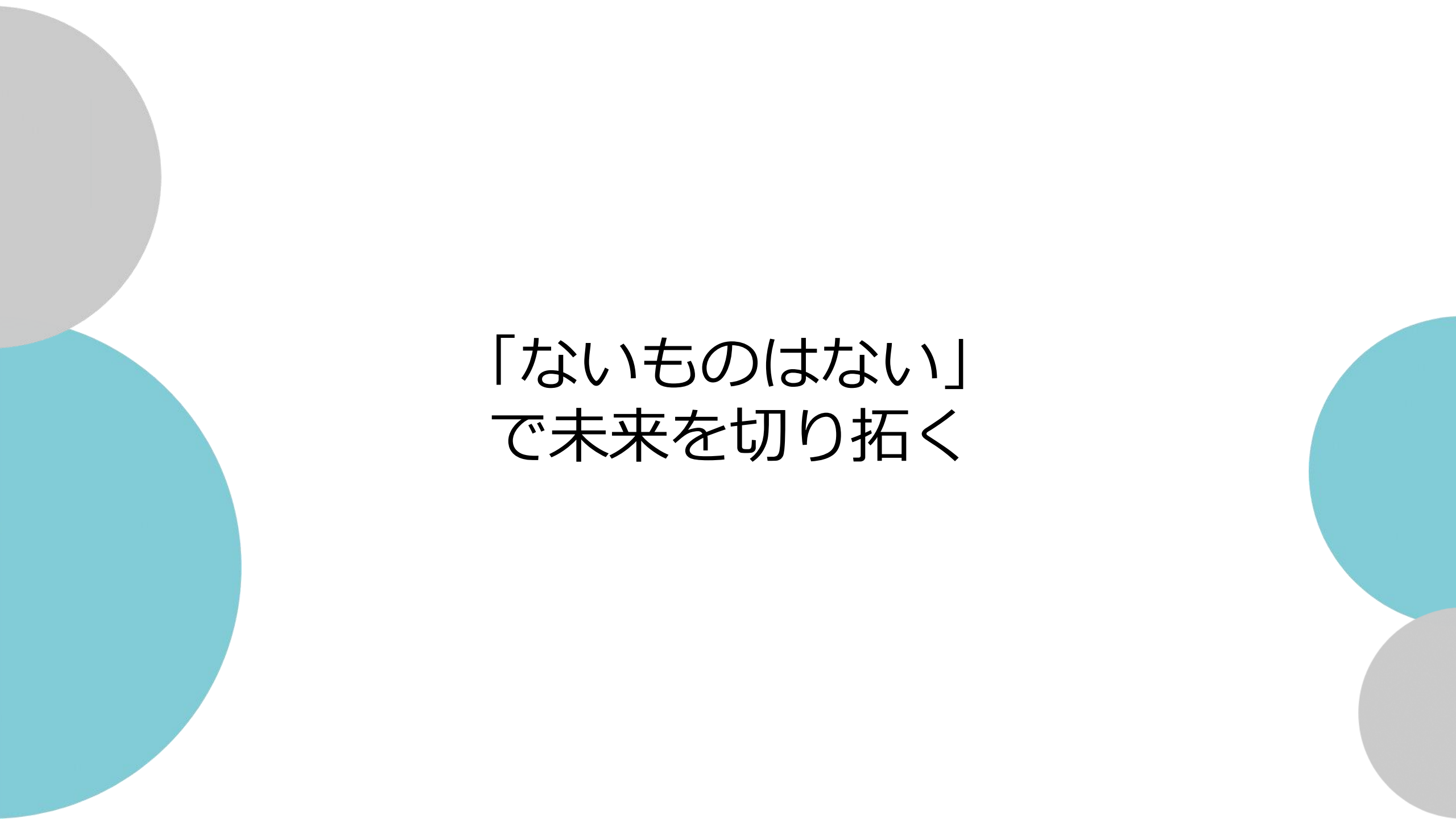
さまざまな共創 官民共創 & 自治体感（間）共創

官官民、官民民・・・



官民連携によるプロモーション活動促進に
寄与する協定締結式



A decorative graphic consisting of several overlapping circles in shades of gray and teal, positioned around the central text.

「ないものはない」
で未来を切り拓く

「ないものはない」で未来をきりひらく

■ 「ないものはない」の2つの意味

●

●

»» ピンチをチャンスにする
逆転の発想

ないものはない（ピンチをチャンスに）

☑事実「高齢化は進んでいます（高齢化率30%超、3人に1人）」

▶▶▶ 元気な高齢者が多ければにない手増。地域は活性化。

▶ 加工食品の製造販売している80歳代の方。

▶ 登校の見守り安全パトの方。なんと88歳。

☑事実「少子化も進んでいます（年間出生数40人）」

▶▶▶ 子ども1人に関わる人やサービス [大] [多]

事業者との共創（ふるさと納税でピンチをチャンスに）

- ・ 小さいまちだと、大きなまちには勝てない
- ・ 海も牧場もなく、いわゆる人気の返礼品がない
- ・ 大手メーカーやブランド企業が少ない

▶▶ ここにしかない魅力を発見・発掘➡
➡返礼品として見える化

▶▶ 小さいまちほど、同じ寄附額なら影響大

事業者のみなさんとの共創（7年前から）

海もない、牧場もない宇治田原町。

しかも、ふるさと納税の取組は後発・後進。

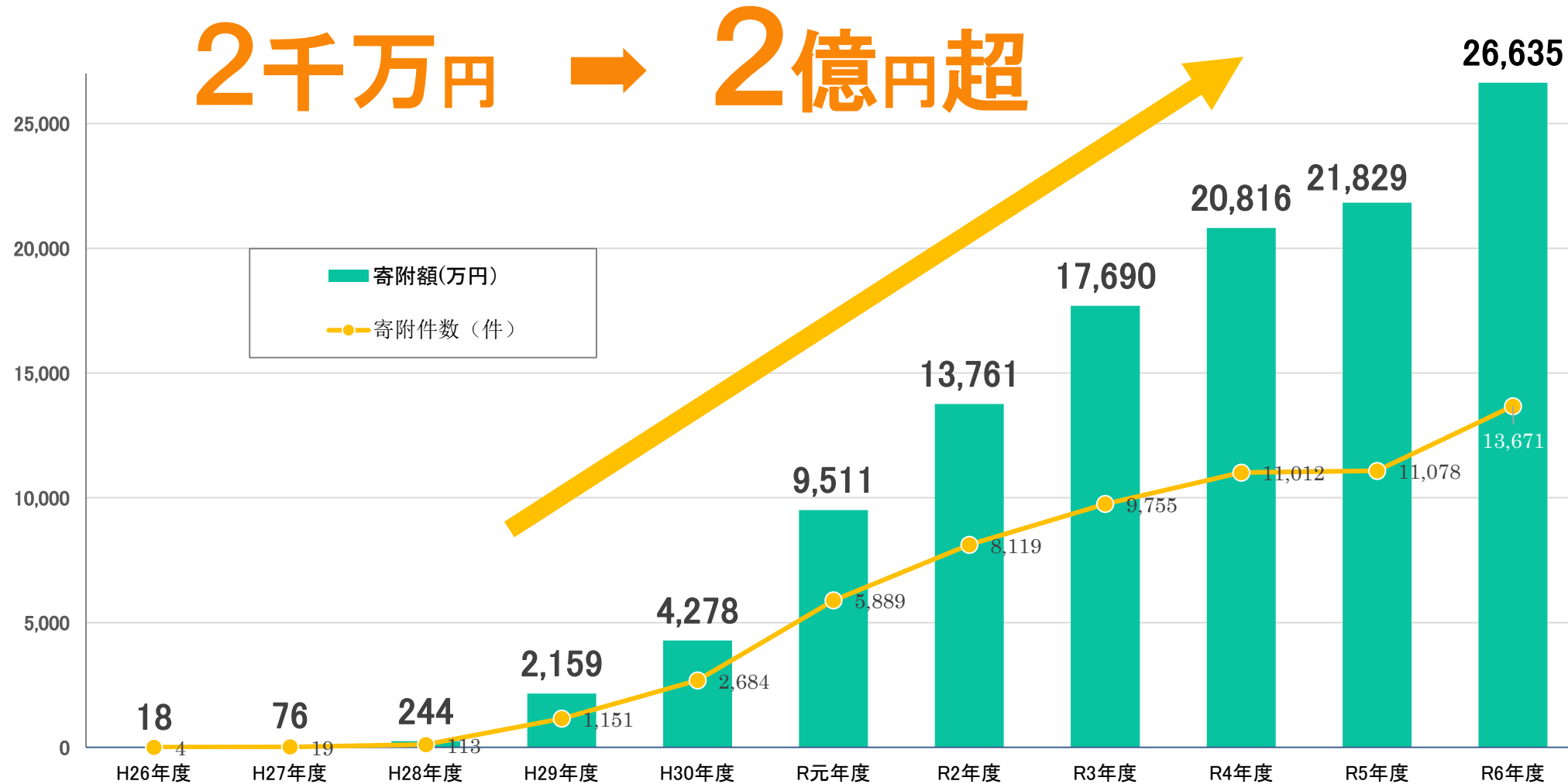
だけど

「あれもこれもない」から「ここにしかない」の視点へ。

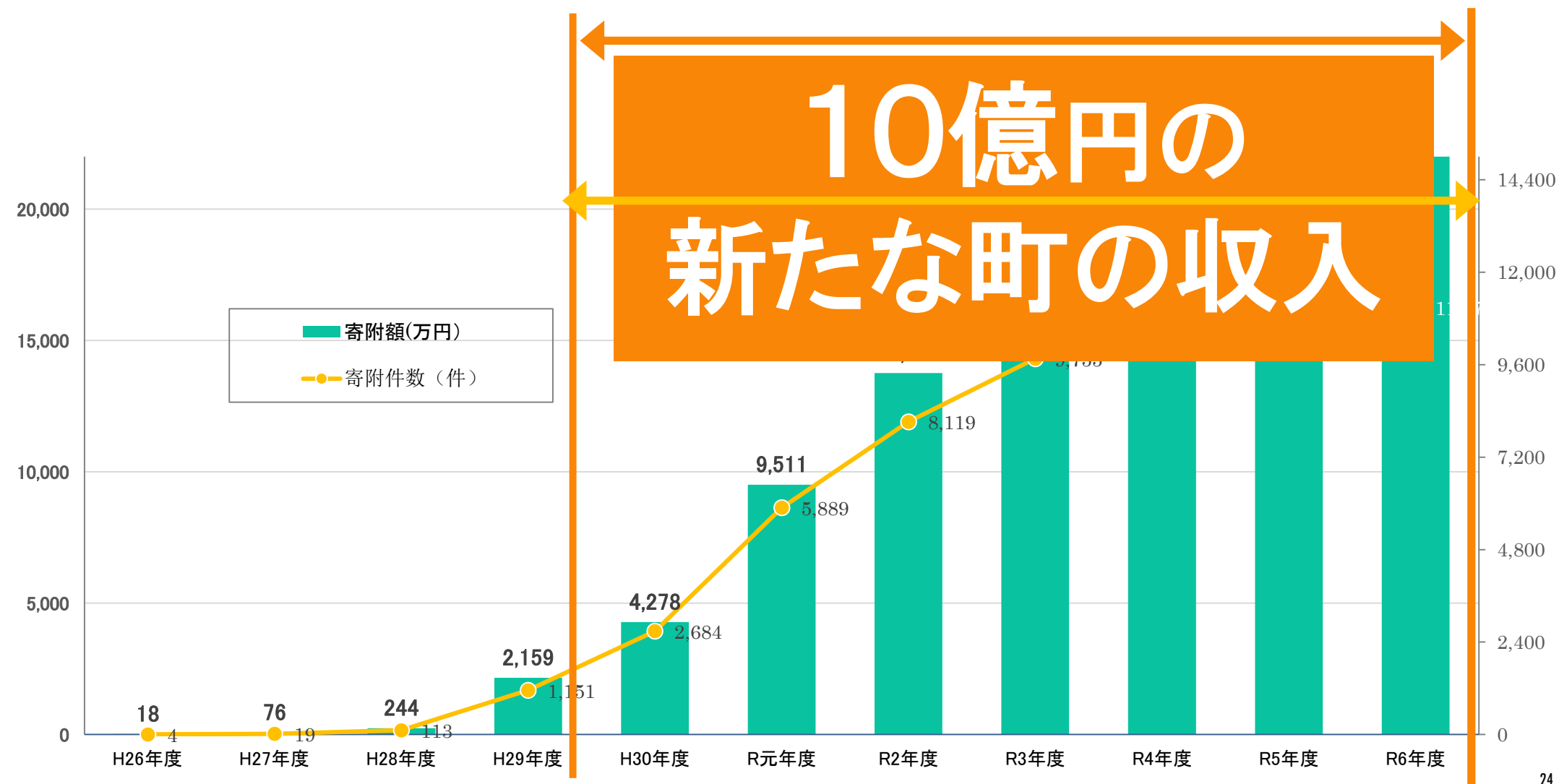
小さなまちだからこそ、大きく変わるチャンスが
ふるさと納税にはある。

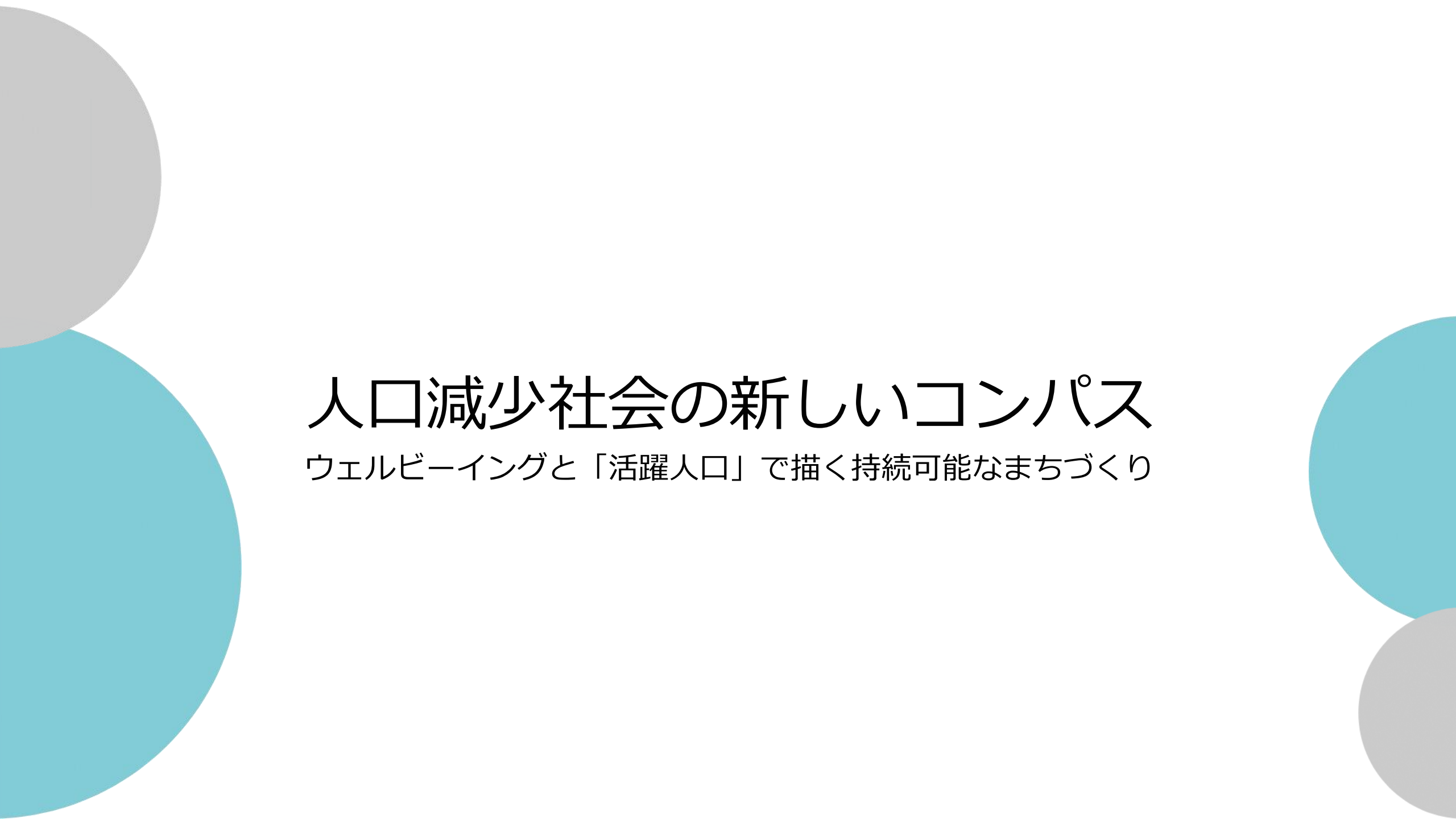
と、言い続けています。

ないものはない➡ここにしかない魅力でふるさと納税 2 億円



当時（H29）には「無い」未来を創った



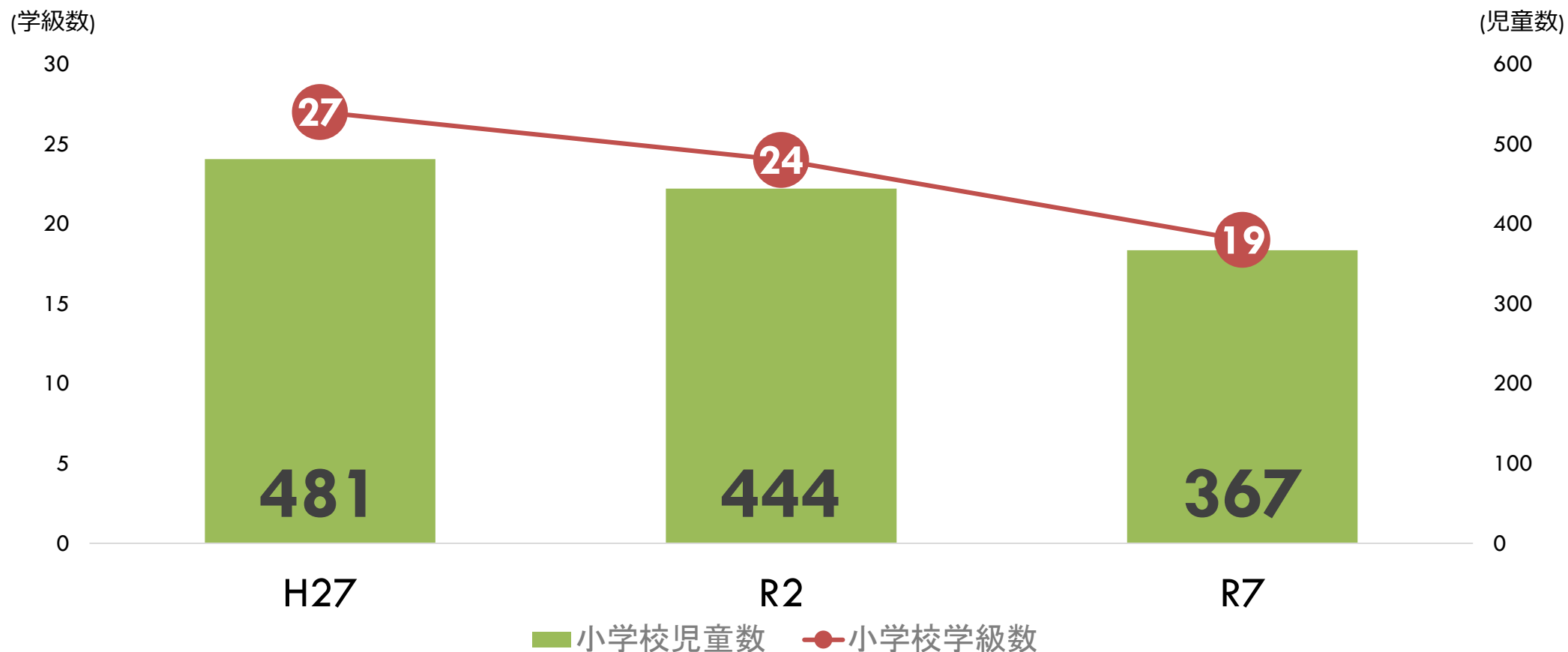


人口減少社会の新しいコンパス

ウェルビーイングと「活躍人口」で描く持続可能なまちづくり

児童数は10年間で100人以上減…

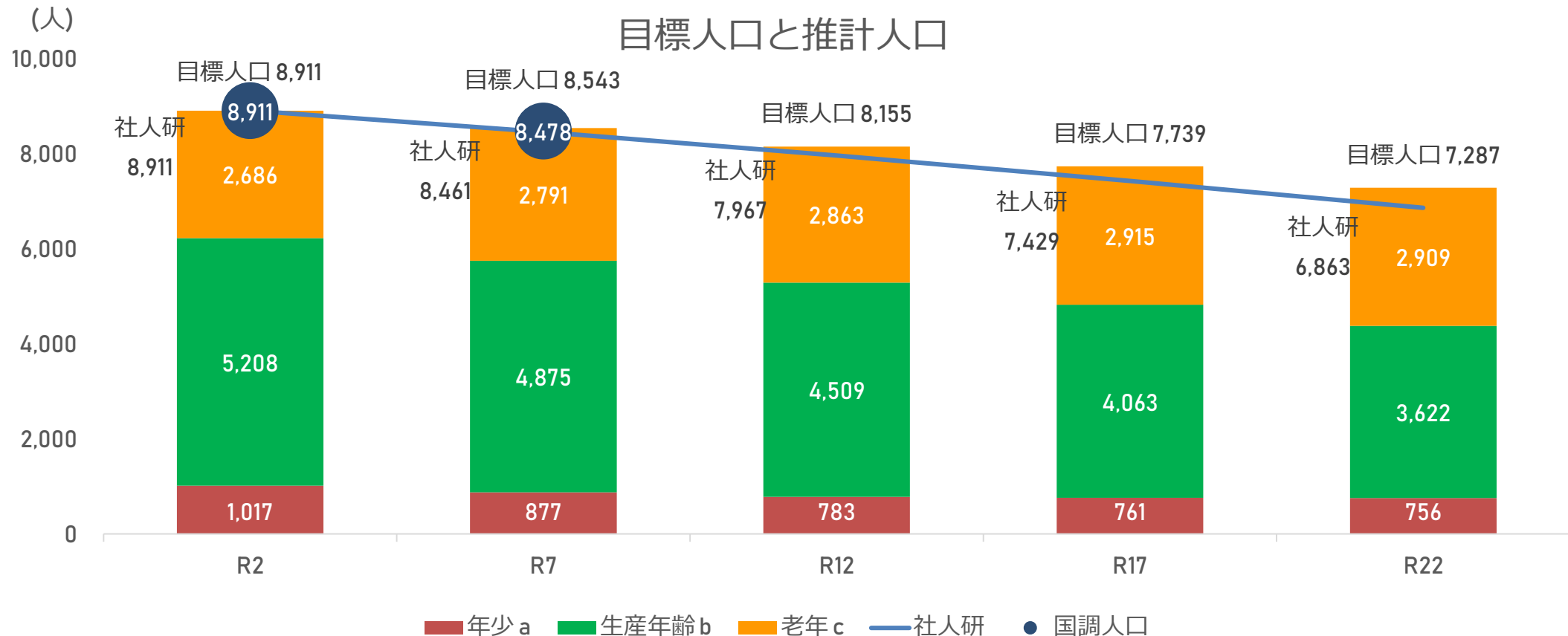
マイナス
24%



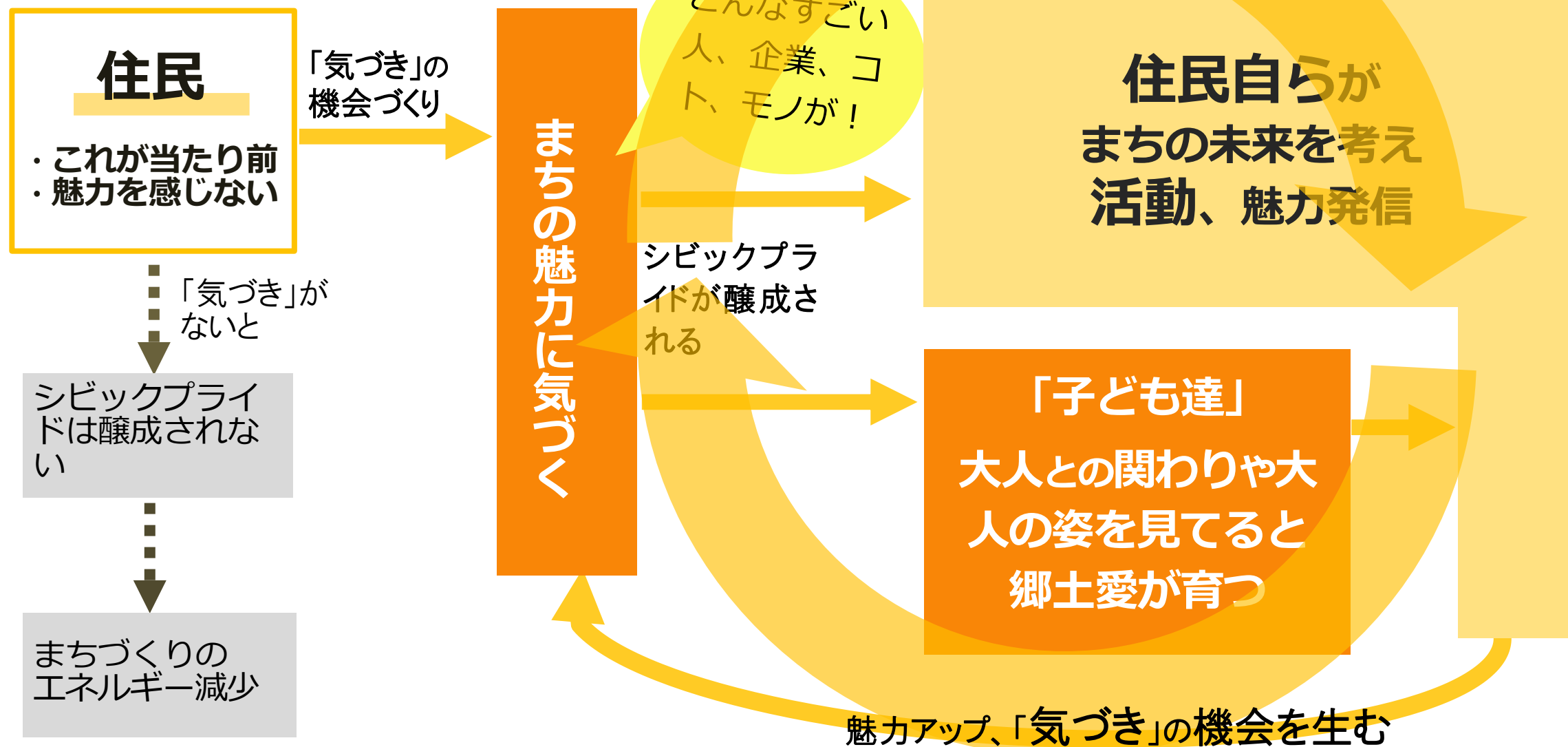
人口減少を見据えた持続可能なまちづくりの局面へ。

744
1729

消滅可能性自治体数



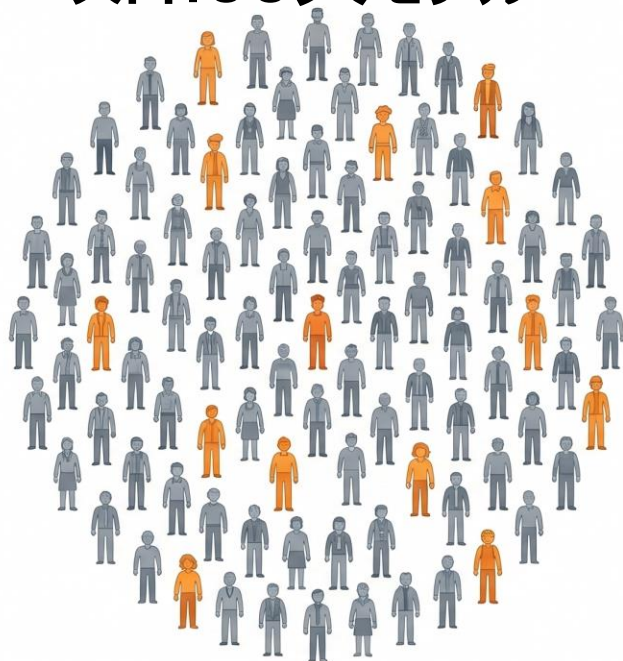
まちへの愛着・誇り・行動で、好循環を



人口減少時代の元気なまちのカタチ 「活躍人口」を最大化する。

生き
残り
戦略

現在
人口100人モデル



未来
人口70人モデル



頭数ではなく熱量。10人の「傍観者」より1人の「主人公」が地域に与えるインパクトは大きい。

まちづくりの基本原則 のアップデート

生き
残り
戦略

	成長・維持モデル（過去）	ウェルビーイング・持続可能モデル（新時代）
主目的	規模拡大（維持）と 経済成長	幸せなくらし（ウェルビーイング） と持続可能性
ものさし （KPI）	人口数	地域に関わろうとする意欲(mGAP) 推奨・参加・感謝（思い・つながり）
ターゲット	定住人口 （人数）	活躍人口 （熱量・シビックプライドとアクション）
アプローチ	地域間「競争」と 行政だけの抱込み	自治体‘感’「共創」とMVVに 基づく有機的連携 （官民・官官・住民・関係人口等）

総人口の維持という視点から、つながりの密度（質の向上）へパラダイム（価値観）を移行する。

新たな指標の検討 参加意欲と幸せ（ウェルビーイング）

生き
残り
戦略



総人口



物質的豊さ



参加意欲
(mGAP)

地域への「愛着」
や「関わりたい」
という住民の思い
を数値化。



幸福
(ウェルビーイング)

心・体・社会とのつ
ながりが満たされ、
自分らしく安心して
暮らせる「状態」。

まちづくりの評価指標を「どれだけ人がいるか」から「どれだけ人が幸せに生きているか」へ再定義。



思いを共有する人たち

シビックプライド／活躍人口



1 10月22日のオースタムフェス。多くの人が集まり、大盛り上がり。写真：小田嶋 大

「まちを盛り上げたい」という思いが、10月22日に開催した宇治田原オースタムフェスに結実。町内外から1500人以上が訪れ、大盛り上がり。写真：小田嶋 大



2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

こども ゆめマルシェ

kodomo yume marché

ぼくたち
わたしたちの
好きが
いっぱい



当日、3店舗でお買い物してくれたこどもさんに

上尾製菓特製のオリジナルパンダラムネ

をプレゼント

(中学生以下、各日ともに先着60名)



ぼくの
ラムネだよー



5/20 SAT · 21 SUN 10:00 ~ 15:00

こどもゆめマルシェでは、こどもたちが
自分たちで考えたお店が並びます。
こども店長さんたちの挑戦する姿を
温かく見守っていただけますと幸いです。

場所

JAやましろ
宇治田原町支店 (くれどき市跡)
京都府京都市宇治市田原町大字立川小学宮ノ本22

約50台駐車場あり

注意
事項

雨天中止

お車で越しの際は出来るだけ乗り合わせ
をお願いします。
駐車場内での事故等につきましては一切の
責任を負いかねます。

地球とわたしたちの
みらいのために
エコパック・MY容器の
ご持参おねがいします



思いを共有する人たち



高校生から中学生へ

いっしょに
「若者の若者による
若者のための」
地域活性化をしよう。
関わった分だけ
まちへの愛着が
深まるよ～。

思いを共有する人たち

保護者対象 アンケート

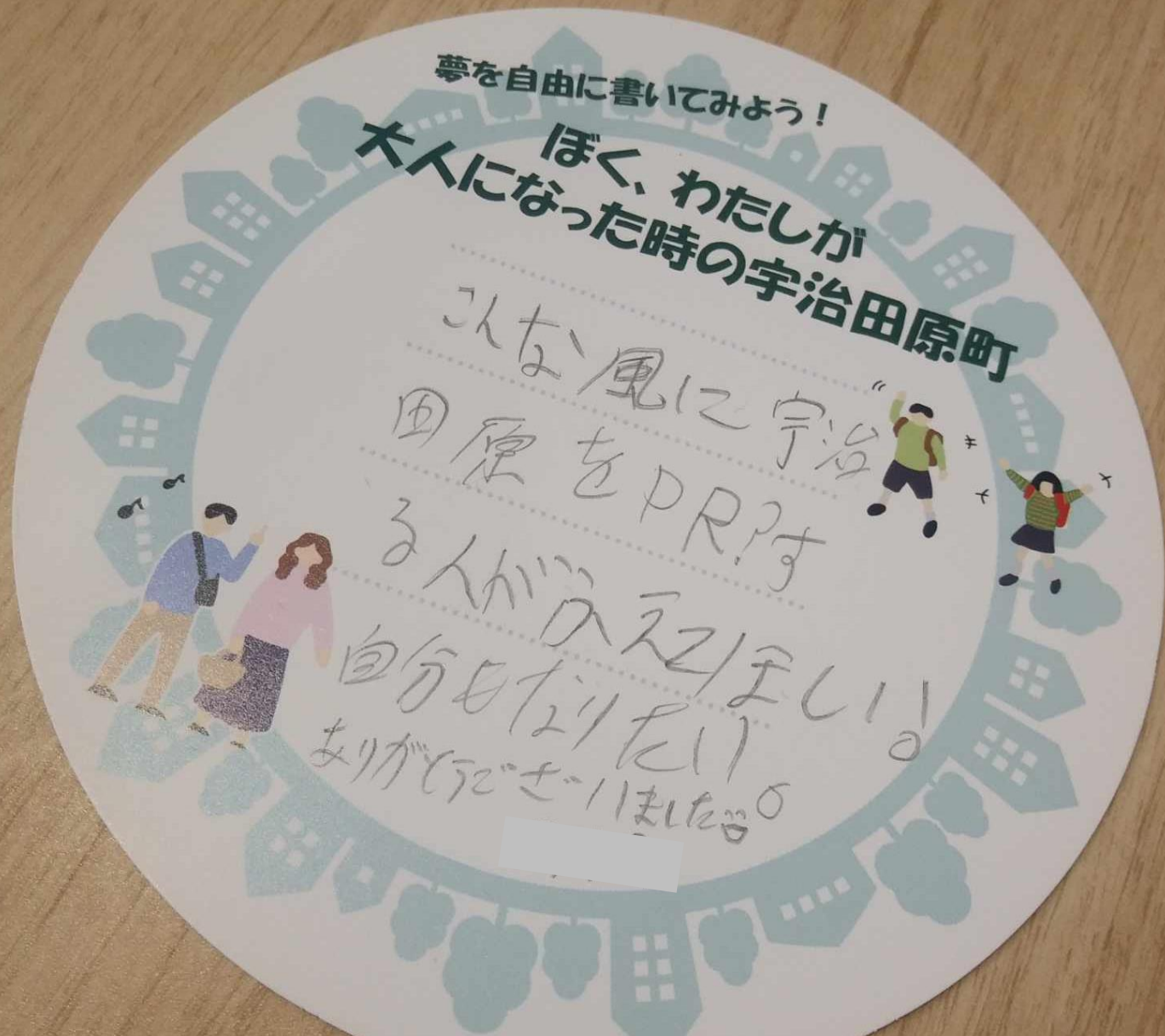
お子さんが茶ッピー未来基金のスタッフになって
どう変化しましたか？

準備や企画に関わることで、自分のすべきことを
考えたり、色んな角度・立場から物事を考えるよ
になった

怖じしなくなった。考えて発言しようしたり、
の意見に耳を傾ける姿勢が現れた

若者（小学生～大学生）が自分たちでまちづくり

講座やイベントを企画・運営



こんな風に
宇治田原をPRする人が
増えてほしい。
自分もなりたい。

小さな出来事。大きな一歩

ないものはない（ここにしかない人・活動）

☑ 自らまちづくりの本質をとらえる活動をしている人たち

■茶ツピー未来基金



ないものはない（ここにしかない人・活動）

■ まちまちカフェ（R7.6_OPEN）



■ 僥倖（ぎょうこう）（R8.3_OPEN）



■ カフェ & ギャラリー 伊助 (R8.6_OPEN)



■ 無垢家具とくらしもの YOKIGI (R8.2_OPEN)

これまでの経験則や成功体験が
まったく通用しない、
まさに「正解のない時代」。

都会ではできない、顔の見える関係性の
人が起点の、つながりがチカラになるまち。

ふるさとだと思う人が
100年後も確かに存在している。
そんな未来にしたいと本気で考えています。

小さなまちだからこそ
思いと共創（みんな）で
未来を大きく変えられます。

これからも、しなやかに、真剣に、面白がって
ともに未来へ。